

教科・科目		対象学年	単位数	教科書(発行者)	補助教材(発行者)
地理歴史 ・ 地理 B		2 年 (文系)	4	新詳地理 B (帝国書院) 新詳高等地図 (帝国書院)	新詳地理資料コンプリート 2021 (帝国書院) サクシード地理 (啓隆社) 地理 10 分間テスト (山川出版社) 地理用語集 (山川出版社)
科目の概要 と目標		地理的な諸問題について、基本的なことから研究方法を理解し、その知識を身につける。 現代世界の地理的事象から地球的な課題を見つけ、それを地域性を踏まえて、多角的に考察する。			
授業の 進め方		・教科書や資料集を用いて基本的な知識の定着を図るとともに、地理的な見方や考え方を培う。 ・地図・資料・データからその特徴を読みとり、課題を見つけて多角的に考察する。			
評価の観点 と方法		・「関心・意欲・態度」「思考・判断・表現」「資料活用の技能」「知識・理解」の観点から評価する。 ・中間考査・期末考査・実力テストなどの得点、課題への取り組み・提出状況などをもとに総合的に評価する。			
学期	単元・学習項目			学習内容・到達度目標	
年 間 の 授 業 内 容	1 学 期	【さまざまな地図と地理的技能】			現代世界の地図について、さまざまな時代や種類の地図の読図などの活動を通して、各時代の人々の世界観を捉え、現代の地図や身近な地図の有用性に気づく。 地図の種類とその利用について、球体としての地球の特徴を捉え、球体を地図に表現した場合の特性や、時差の求め方を通して、現代世界の地理的事象を捉える地理的技能を身につける。 地理情報の地図化について、地理情報の統計地図化などの活動を通して、地図の有用性に気づき、現代世界の地理的事象を捉える地理的技能を身につける。 地図の活用と地域調査について、直接的に調査できる地域を地形図などの地図を活用して多面的・多角的に調査し、生活圏の地域的特色を捉える地理的技能を身につける。 世界の地形について、営力的な視点で分類し、大地形、小地形、その他の地形の分布や成因を考察するとともに、災害と恩恵など人間生活との関わりを考察する。 世界の気候について、気候要素と気候因子の関係から、その成り立ちを考察し、それぞれの気候区の特徴と農業など人間生活への影響を考察する。 日本の自然の特徴と人々の生活について、地形や気候の特徴と、これによる自然災害の特徴を理解するとともに、防災のあり方を考察する。 環境問題について、世界の環境問題の成因や特徴と対策、地域的な分布を大観し、さまざまな環境問題のうちから地球温暖化、森林破壊、砂漠化について、事例を考察する。日本の環境問題の特徴と対策について考察する。
		1 地理情報と地図			
		① 現代世界の地図			
	② 地図の種類とその利用				
	③ 地理情報の地図化				
	2 地図の活用と地域調査				
	【現代世界の系統地理的考察】				
	1 自然環境				
	① 世界の地形				
② 世界の気候					
③ 日本の自然の特徴と人々の生活					
④ 環境問題					
2 資源と産業					
① 産業の発達と変化					
② 世界の農林水産業					
③ 食料問題					
④ 世界のエネルギー・鉱産資源					
⑤ 資源・エネルギー問題					
3 学 期					
⑥ 世界の工業					
⑦ 第 3 次産業					
⑧ 世界を結ぶ交通・通信					
⑨ 現代世界の貿易と経済圏					